



高輪だより

令和4年度 3月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

わくわく ぽかぽか
みんなえがおの
たかなわようちえん

子どもたちの成長に感動、幸せを感じる3月

園長 柿沼 敦子

小鳥の囀りや柔かい日差しの中で園児たちが元気に遊んでいます。先日、高輪森の公園で年長・年中が遊びました。大人が歩いて20分弱の道のりですが、年長は、年中をリードしながら行きも帰りもしっかりと歩くことができました。徒歩通園や交通安全への家庭との連携が園児の体力や安全への構えの育ちにつながっていると感じる時間でした。

さて、森の公園では、年長は急な斜面の登り降りに挑戦しました。体を四つん這いにして木の根っこを掴みながら慎重に登り、お尻を地面につけて滑って降ります。戻って来た子たちは口々に「めっちゃ、楽しい!」「もう一回やりたい!」と言いながらまた登って行きました。園長の「あと1回でおしまいです!」の合図に、子どもたちは「もっとやりた〜い」とリクエスト。「おまけ」を何回も楽しむ姿がありました。年中は年長のたくましい姿を見て、緩やかな斜面でその憧れの姿を実現しました。帰り道、道行く人に「何をして遊んだの?」と聞かれ「がけをすべったの!」と、大満足の表情でした。楽しんだ証、ズボンは土まみれ。お洗濯ありがとうございました。

あと少しで年長は修了式を迎え4月から1年生。年中、年少も進級します。年中は年長から誕生会の司会をバトンタッチしました。年少は、ひよこの会で、幼稚園の先輩として園歌を歌いました。年長児に「寂しいな」と訴えると、「僕が5年生になったら、幼稚園の子と遊ぶ日あるでしょう、その日に来るよ」「私は毎日、幼稚園を通るから会えるよ」など優しい言葉で慰めてくれますが、気持ちは小学校へ向かっていることを感じます。年少、年中児も進級を楽しみにしています。しかし、どこかで少し緊張や不安を感じることもあるようです。安心して進級、進学できるよう、自信をもたせていく肯定的な言葉がけをしたり、抱っこする時間をつくって温もりを感じさせたりすることが大切です。教職員一同、園児一人一人に寄り添いながら、成長を感じる幸せな3月を一日一日大切に過ごしていきます。

保護者の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力のおかげで、園児が毎日「わくわく」と心を弾ませて遊び、温かい人との関わりの中で心を「ぽかぽか」にして自分らしさを発揮しながら、「笑顔」で成長することができました。令和5年度も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

<子ども会>

保護者の皆様のご感想から

3歳児 3びきのこぶた
生き生きとした表情を見て、しあわせな気持ちになりました。



4歳児 さるかに合戦
一人一人活躍の場があり、頑張る姿に成長を感じました。



5歳児 くすのきだんちは6階建てすみれ組の底力を感じました。劇の構成、セリフ、音響、大道具など素晴らしく感動しました。



たかなわんだふる

みなエコ最優秀賞受賞

港区学校版環境マネジメントシステム「みなとこどもエコアクション」において、幼稚園、小・中学校の中から高輪幼稚園の取組が評価されました。日頃から幼児の発達に応じて自分事として感じたり、考えたりできるようにしています。



栽培活動、ビオトープ設置、インクカートリッジ回収、紙媒体の削減、廃材の再利用など総合的な取組を評価されました。

